

有識者や「ホワイトスペース特区」選定者等が参加し、ホワイトスペース活用の全国展開を目指す『**ホワイトスペース推進会議**』を平成22年9月10日に設立。

体制図(イメージ)

ホワイトスペース推進会議

事務局:総務省電波政策課

「新たな電波の活用ビジョンに関する検討チーム」(座長:土居範久 中央大学教授)の構成員をメンバーとして構成。

【主な活動例】

- ・ 「ホワイトスペース特区」の選定・評価
- ・ ホワイトスペース活用に関する全国的な普及啓発活動の実施
- ・ 混信防止措置やサービス提供体制の構築に関する検討への助言 等

選定・評価

応募・報告

意見交換

「ホワイトスペース特区」

各地域の特性を活かしたホワイトスペース活用の実現に向けて、実証実験などを実施。先行モデルは、(株)湘南ベルマーレ、(株)TBS、(株)トマデジ、日本空港ビルデング(株)、(株)デジタルメディアプロ、兵庫県、宮城県栗原市、YRP研究開発推進協会、(社)日本ケーブルテレビ連盟、日本放送協会。

【主な活動例】

- ・ アプリケーション開発やシステム実証等に関する実証実験の実施
- ・ 混信防止の観点からの関係者間の事前の連絡体制の構築
- ・ 地域における安定的な情報配信スキームの確立 等

- 既存システム等との混信を防止するための環境整備を推進。
- ホワイトスペース活用の全国展開に向けたルールづくりを促進。 等

必要に応じて、各総合通信局や標準化機関・研究機関（ARIBやNICT）等と協力・連携